

下呂商工会だより



令和7年12月吉日（師走）

発行：下呂商工会

TEL：0576-25-5522

Eメール：gerosho@ccn.aitai.ne.jp

<https://www.gifushoko.or.jp/gero/>

下呂市森 801-10

中国の渡航自粛、輸入制限等による相談窓口

岐阜県では、「中国の渡航自粛、輸入制限等による影響に関する事業者向け相談窓口」を11月20日（木）より岐阜県下各地に設置しております。

相談時間：月曜日から金曜日（祝日、振替休日、年末年始を除く） 午前8時30分から午後5時15分まで

①商工労働部 商業・金融課 資金融資係

岐阜市藪田南2-1-1 岐阜県庁10階

電話 058-272-8374（直通）

②飛騨県事務所 振興防災課 産業労働係

高山市上岡本町7-468 飛騨総合庁舎内

電話 0577-33-1111（代表）

インボイス登録を見送り

下呂商工会のインボイス制度登録について、先日開催された理事会にてご協議いただき、今年度からの会費や手数料の値上げ、制度導入のメリット・デメリットについても勘案され、当面の間、下呂商工会ではインボイス制度の登録を行わないことが、決定されましたので、ご報告申し上げます。

令和7年分の年末調整

【年末調整】・・・今一度確認！

年末調整を一言でいうと、従業員や専従者の最終的な年税額を年末に計算し、精算する手続きのことです。通常、従業員や専従者が納付する所得税は、毎月の給与や賞与などを支給するたびに、そこから源泉徴収しています。ただし、「扶養する家族に異動があった」場合や、「生命保険料や地震保険料などの所得控除がある」等の理由により毎月の給与控除額の合計と本来の年税額が一致しないケースが多くあります。そこで1月から12月までの1年分の収入が確定した時点で正確な所得税額を計算し、過不足を精算するため年末調整を行うことになります。この年末調整は、源泉徴収義務者である事業所に実施が義務付けられており、年末調整を実施した後は、税務署や従業員が居住する市区町村にその内容を報告することが必要です。令和7年の年末調整は、税制改正の影響を受け大きな変更が加えられています。下記に主な変更点3点を簡単にまとめましたので参考にさせていただきたいと思います。

【変更点1】基礎控除・給与所得控除の引き上げ

「基礎控除の見直し」

これまで一律48万円となっていましたが、令和7年は合計所得金額に応じて58万円～95万円の範囲で控除されるこ

とになります。これは、令和7年・8年分の暫定的措置となっており、令和9年分以降は一律58万円の控除になります。ただし、合計所得金額2,350万円超に対する基礎控除額には改正はありません。

「給与所得控除の見直し」

給与所得控除については、これまでは年収額（＝給与等の収入金額）に応じて55万円を最大として段階的に設定されていた控除額が、一律65万円に引き上げられました。

尚、給与の収入金額が190万円超の場合の給与所得控除額に改正はありません。

【変更点2】扶養控除・配偶者控除などの所得要件が緩和

基礎控除・給与所得控除が引き上げられたことにより、扶養親族や配偶者などの所得要件も次のように見直されました。

扶養親族等の区分	所得要件 (収入が給与だけの場合の収入金額)	
	改正後	改正前
扶養親族 同一生計者 ひとり親の生計を一にする子	58万円以下 (123万円以下)	48万円以下 (103万円以下)
配偶者特別控除の対象となる 配偶者	58万円超 133万円以下 (123万円超 201万5999円以下)	48万円超 133万円以下 (103万円超 201万5999円以下)
勤労学生	85万円以下 (150万円以下)	75万円以下 (130万円以下)

【変更点3】特定親族特別控除の創設

基礎控除の引き上げに伴い、大学生の年代の子ども（19歳以上23歳未満）がいる世帯の税負担を軽減するため、「特定親族特別控除」が創設されました。これは、従来、いわゆる「103万円の壁」を意識して就業調整をしていた学生アルバイトに対する措置で、特定親族にあたる扶養親族の合計所得金額に応じて段階的に特別控除が受けられるというものです。昨年まで特定扶養親族（19歳以上23歳未満）として控除を受ける要件のひとつに合計所得金額が48万円以下

（収入が給与だけの場合は年収103万円以下）とありましたが、令和7年以降、合計所得金額が58万円以下（収入が給与だけの場合は年収123万円以下）となりました。しかし、より多くのアルバイト収入を得る大学生



がいる場合、この控除が適用されなくなるため世帯への税負担が大きくなります。そこで、この年齢層に対して、所得の多寡に応じて段階的な控除が適用されることになりました。

（尚、所得金額に対する特定親族特別控除額の一覧については国税庁のホームページ等でご確認ください。）つまり、合計所得金額が58万円以下（年収123万円以下）であれば「特定扶養親族」として扶養控除が適用され、合計所得金額58万円を超える場合（年収123万円超）は特定親族特別控除が適用されることになります。また、特定親族特別控除は、所得が増えるほど控除額は少しずつ減額され、最終的に合計所得金額が123万円（年収188万円）を超えると適用対象外となります。以上、簡単にまとめてみましたが、国税庁のホームページ「年末調整がよくわかるページ」等で確認していただき、お間違いのない事務手続きをお願いします。

また、商工会では例年通り、年末調整の事務についての支援をさせていただきます。来会される方は、各種控除証明書等

裏面につづきます。

お忘れ物のないようお越してください。期限が近くなりますと、大変混雑しますので、お早めに来会されますことをお勧めします。

※源泉所得税納付期限 令和8年1月13日(火)

但し、納期特例届出事業者は1月20日(火)となります。

確定申告に向けてお早めにご準備ください！ 決算・所得税、消費税確定申告

商工会では、個人事業主の決算・確定申告全般にわたり、一連の支援業務を行います。昨年まで、商工会で支援を実施させていただいた事業所の方には、後日、申告指導支援の案内を郵送させていただく予定です。年明け頃「そろそろ準備しないと」と思いつつも、なかなか動き出せない・・・早め早めの対応がトラブルを防ぎます。商工会の記帳機械化を利用している皆さまにおいては、「収支日計帳」を早めに提出いただくようご協力をお願いいたします。



STOP！ 冬季労働災害プロジェクト

飛騨地区では、冬季の厳しい気象条件の影響を受け、積雪・凍結・寒冷に起因した冬季特有の災害が発生しています。令和2年度から令和6年度の5か年の冬季(12/1～3/31)において、休業4日以上労働災害が330件発生していますが、そのうち、冬季特有の労働災害は107件(32.4%)となっています。その災害の内訳は、路面の凍結等による転倒災害が77件と最も多く、手足の骨折等を伴う重傷災害が多くなっています。続いて、屋根の雪下ろし時等における墜落・転落災害14件、車やオートバイのスリップ等による交通事故が4件発生しています。また、全国的に見ると、除雪作業用重機の転落災害、燃焼式暖房器具使用時による一酸化炭素中毒などの労働災害も散見されます。



このため、高山労働基準監督署では、12月1日から翌年3月31日までの4か月間、「STOP！ 冬季労働災害プロジェクト」を推進しています。労働災害防止のため積極的な取り組みをお願いします。

尚、「令和7年度 STOP！ 冬季労働災害プロジェクト実施要綱」及び「推進リーフレット」については、高山労働基準監督署のホームページをごらんください。

記帳機械化支援について

記帳機械化は「帳簿の付け方がわからない」「仕訳に自信がない」「経費区分がわからない」など、様々な経理に関するお困りごとを解決し、商工会が事業者の皆様の記帳についてお手伝いするものです。記帳機械化をご利用いただくことにより、正確な記帳へと結びつき、決算書における貸借対照表の作成

等にもとづき青色申告特別控除(55万円、電子帳簿保存を行っている場合は65万円)が受けられます。

また、各科目の集計をする手間が省け、経理事務をスピーディに行うことができ、事業の状況把握にもつながります。この機会にぜひ、記帳機械化システムの利用をご検討いただけたらと思います。詳細は、商工会へお問合せください。(下呂商工会 電話25-5522)



下呂市ふるさと納税新規返礼品 事業者募集中！

「ふるさと納税」とは、個人が任意で選んだ自治体(都道府県や市町村)に「寄付」できる制度です。寄付をすることで、原則として自己負担額2,000円を除いた全額が、現在住んでいる自治体に収める所得税や個人住民税から控除・還付されます(年収などに応じた上限額があります)。返礼品は各自治体ならではの食品や木工品などの特産品・宿泊券などのサービス券をお送りしています。下呂市では、ふるさと納税制度を活用した地域活性化・特産品振興のため、下呂市の魅力PRのために「ふるさと納税返礼品」を提供いただける事業者を募集しています。



◆ふるさと納税 地場産品の基準について◆

ふるさと納税の返礼品は、地域における雇用の創出や、地域資源の発掘など、地域経済の活性化に貢献するものである必要があります。そのため、返礼品を提供される際は、国(総務省)から示された「地場産品基準」にもとづき取り扱うことが定められています。基準に合致しないと下呂市が判断した場合、返礼品の登録をお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください。(総務省が定める地場産品基準の詳細は、総務省ホームページにてご確認ください)

下呂市観光商工部商工課 0576-24-2638(商工課直通)

げろぐるくんのLineスタンプ！

下呂商工会オリジナルのげろぐるくん Line ス

タンプを販売しています。下

呂の方言も含まれたかわいら

しい40種類のスタンプです。

ぜひ、QRコードからご購入

ください。



まろとつ
たのむさ

☆年末年始の事務局の休業について☆

- ・12月25日(木) 年内最後の商品券換金日となります。
- ・12月27日(土)～1月4日(日)の9日間は、事務局は休業させていただきます。
- ・1月5日(月)より通常通りの業務となりますが、午前中は新年あいさつまわり等で職員不在となる場合があります。ご迷惑をおかけしますがよろしくお願いいたします。